

LPガスの
準備 OK?

防災グッズのように、エネルギーも準備しよう！

災害にも強いLPガス

ラインのいらないライフライン

災害時に困るのは「ライフライン（電気・ガス・水道）の遮断」

大規模な災害では物資の供給が遅れたり、ライフラインが止まり復旧に時間がかかる場合があります。

日頃からライフライン（電気・ガス・水道）が遮断した時の備えが大切です。

LPガス（プロパンガス）はボンベに入っているので



効率よく運びやすい

点検が容易なのですぐ使える

保管がしやすい

「ラインのいらないライフライン」です！ 中面をご覧ください

地震の時
グラツ
ときたら



① 身の安全を確保し揺れが収まるのを待ちましょう。



② ガスコンロなどの器具栓を閉めましょう。



③ ガス元栓、容器バルブを閉めましょう。

災害時は、まず自分の身を守りましょう！

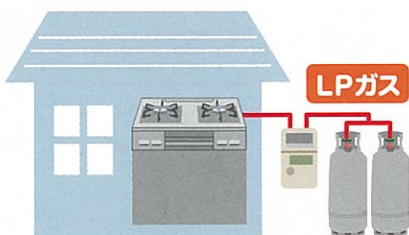
災害に強い LP ガスは復旧が早い！

災害時には「安全」に「すぐ使える」ことがとても重要です。

01 「LP ガス」と「都市ガス」は何が違う？

LPガス

特徴
個別供給

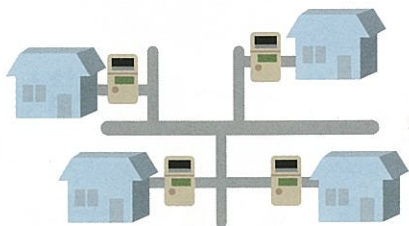


1戸1戸販売店が個別点検、
配管が短く点検が容易

1戸単位で点検・復旧が可能な為、
復旧が早い！

都市ガス

特徴
ネットワーク供給型



- 都市ガスは各戸の器具点検ガス栓閉止確認が必要なので**時間がかかる**
- 都市ガスは、災害などで地下埋設導管が損傷すると被害が広範囲に及び、数百戸、数千戸単位で安全確認が必要のため、復旧までに長い日数がかかる。

02 災害時の復旧スピードは？ LP ガスと他のエネルギー。

東日本大震災時の復旧状況



※グラフは経済産業省資源エネルギー庁「東日本大震災に関する調査」より引用

LP ガスは、地震などの災害によってガスが使えなくなった状態からの復旧の早さに定評があります。平成30年6月18日に大阪府内で発生した震度6弱の地震ではLPガスは翌日19日に、都市ガスは24日に全面復旧し他のエネルギーに比べいち早く**全面復旧**しました。



LPガスってどんなガス？

一般家庭で使われる50kg容器には、
約2ヶ月分(4人家族の場合)のLPガスが入っています。

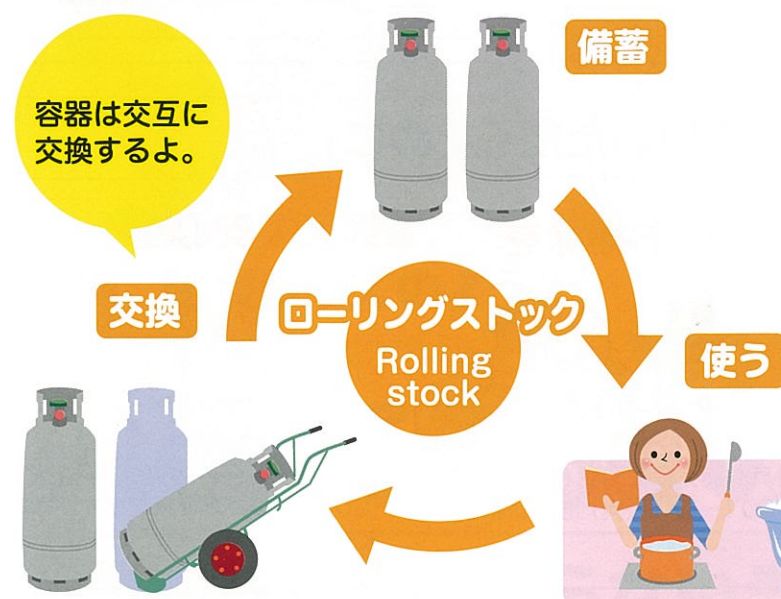
LPガスとは「Liquefied Petroleum Gas」の略で、日本語で液化石油ガス、通常プロパンガスと呼ばれています。

容器(ボンベ)には、気体(ガス)の1/250の体積になる液体の状態に入っているので効率的に貯蔵・配送できます。

災害の備え LP ガスは使いながら備蓄できる！

01 エネルギーにも「ローリングストック」という考え方を！

ローリングストックのポイントは
「日常生活で消費しながら備蓄する」
ことです。



ローリングストックとは
災害時に備えた食品や日用品の
備蓄方法のひとつです。



普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法を言います。

**使いながら
備蓄できる！**

LPガスはガスを使いながら備蓄できるエネルギーです。

LPガスは容器に概ね1～2カ月分程度のLPガスが残るようお届けしています。
災害などによりLPガスの配送がストップしても、ガス設備が破損していなければ普段通りガスが使えます。
また、LPガスを日頃から使用していれば、法令による定期点検を行うので、いざという時にガスが使用できないというリスクを避けることができます。
つまり常時使用していることが防災対策に繋がるということです。

02 避難所や病院などのエネルギーにLPガスは最適です。



点検・復旧が早く、使いながら備蓄できるLPガスは、
避難所や病院などのエネルギーとして最適です。

ガス発電機を備えておけば、停電時でも対応可能です。

地震対策 助成金

避難場所等に指定されている神奈川県内の公共施設等で新たにLPガス設備を設置する場合に費用の一部を助成します。

詳しくは（公社）神奈川県LPガス協会ホームページまで <http://www.kanagawalpg.or.jp/>

安心・安全のために知っておきたいこと

01 災害時に自動的にガスを遮断する「マイコンメーター」

マイコンメーターはガスをご使用時に大きな揺れ（震度 5 相当以上）を感知すると、自動的にガスを遮断します。

止まったガスを使えるようにするには

復帰ボタンを押し約 **30 秒**待ちます

※操作しても復帰しない場合は、LP ガス販売店の点検を受けてください。



02 LPガスを「安全にお使いいただくために」

換気に注意



ガス器具を使う時は換気扇を回し、時々窓を開けるなど、必ず換気を行い、新鮮な空気に入れ換えましょう。

日頃からお掃除を



ガス器具や換気扇に油污れやホコリがたまると CO（一酸化炭素）発生の原因に。

備えて安心



CO の発生を音でいち早く知らせる「CO 警報器」の設置をおすすめします。

神奈川県 LP ガス協会の取り組み

横浜市・川崎市・秦野市 地域防災拠点の学校に「LP ガス常設」実現

横浜市では避難所となる中学校のうち都市ガスが供給されている 82 中学校と 1 高等学校に LP ガス容器を常備し、災害時に備える体制が整備されています。

川崎市では、小中学校 116 校に LP ガス容器が常備され、秦野市では、市内全 22 小中学校に LP ガス仕様の GHP が導入されています。また、小田原市では、18 小中学校の普通教室に、伊勢原市では 4 中学校の普通教室に LP ガス仕様の GHP エアコンと災害バルクを設置しました。

文部科学省 が取りまとめた「災害に強い学校施設の在り方について」の報告書の中で

普段使用している熱源が使えなくなることを想定し、炊き出しなどに必要な熱源を LP ガスやカセットコンロなどにより確保しておくことが重要。と公表しました。



お客様相談所



公益社団法人 神奈川県 LP ガス協会

どんなことでも LP ガスのご相談はこちらへ

<http://www.kanagawalpg.or.jp/>

0120-244-5666

受付時間（年末年始、日・祝日は除く）

【平 日】am 8:30 ~ pm 5:00 【土 日】am 10:00 ~ pm 4:00

このリーフレットは LP ガス安全委員会支援事業により作成したものです。

LP ガス安全委員会 <http://www.lpg.or.jp>